



# かけはし

## 体験を生かして

今回は、4年生と6年生の学習を取り上げてみました。

4年生は、総合的な学習の時間を利用して、森林の大切さについて学んでいます。酸素をつくり、水を蓄え、様々な動物たちのすみかとなっている森林。森林について学ぶことは、私たちの生活について学ぶことにつながります。この学習を通して、自分たちの生活を見直し、自分にできることを考え、実行していく力を育てたいと考えています。

## 保護者の感想より

○今日の参観で、子どもがどんな大自然の中で、どんなことを学んできたのかがよく分かり、いい勉強をしてきたことをうれしく思いました。なかなか自然と接する機会もありますが、目で見て、肌で感じて、自然がどのような仕組みになっているかを知ることができて、子どもも自然の大きさ、大切さを実感し、心が豊かになったことと思います。

その日も、自分でくんできた水をうれしそうにみせて、「この水、山でくんできたよ。」と教えてくれ、おいしいと言いながら喜んで飲んでいました。

○子どもたちが、とても落ち着いて発表しているなと思いました。一人一人が、発表の練習をよくしているんだろうと思いました。また、資料作りも、絵を描いたり、写真を使ったりなど、班ごとにいろいろな工夫がなされていて、成長を感じることができました。

クイズなどもおりませで、子どもたちプラス親たちの交流もあり、楽しく、また知らないことも勉強になりよかったです。子どもたちなりに、川上村でいろんなことを勉強し、吸収して帰ってきたのだなあと感じました。○今日はとてもよい勉強になりました。みんな生き生きとした表情で発表し、充実した時間だったと思います。そして、森と川の大切さを知り、今、私たちが少しでもできることは何かを考えさせられたように思いました。

続いて6年生。6年生は、修学旅行で体験してきたことをもとに、平和について、また命の大切さについて考えました。そして、『平和集会』という形で、全校児童

や保護者の方々に、自分たちの思いを伝えることにしました。

## 保護者の感想より

○全員が力を合わせた素晴らしい作品の数々を見せていただき感動しました。家庭内では、最高学年でありながらも頼りないものやなあと感じていましたが、うんと成長しているものなんだと改めて感じました。ゲームの世界や情報社会の中で薄れていく人への思いやりや情とかを、この子どもたちは持っているんだと感じました。この修学旅行によって、『平和』について多くのことを学ぶことができましたが、『人と人とのつながりの大切さ』も学ぶことができたと思います。

○私たち世代も実際に戦争を体験していませんが、祖母や母から戦争の生々しさなど聞かされてきました。そんな私たちの子どもが、また次の世代にこのことをしっかりと伝えていき、どう生きていけばいいのかを教えることは難しいのではと思っていましたが、今日の参観で、この子どもたちなら大丈夫だと感じました。戦争は二度としてはいけないこと、そして、そのために自分たちはどう生きていけばよいか、子どもたちはしっかりと考え、感じたことでしょう。絵画や工作、劇など、それぞれ一生懸命みんなが協力して作り上げたものに感動しました。子どもたちから大切なものを教えられた一日でした。

一学期も残すところあと二週間になりました。これまで何回かに分けて参観日の様子を掲載しながら、子どもたちの学習内容と保護者の方々の温かいまなざしをお伝えしてきました。今後も、子どもたちは学校や地域で様々な体験をしながら学んでいくことでしょう。その学びを確かなものにするためにも、家庭、地域、学校が互いに情報交流しながらよりよい連携をめざしていきたいと思えます。

ご意見ご感想をお寄せください。

---

---

---

---

---

---

---